

「何のために勉強するのか」

7月に入りました。期末テストが終わり、生徒は成績が気になるころだと思います。今年度は「頑張り」と「優しさ」の発揮を合い言葉に、「主体的に動く」ことを目標にしてきましたが、「勉強」こそ、主体性が大きな鍵になります。生徒集会で次のような話をしました。

「難しい数学の公式覚えて本当に役に立つのかな。」「将来のために勉強しろと言われるが、将来何をしたいかわからない」など、思っている人はいませんか。

「何のために勉強をするのか」。わたしは、「自分の進む道を知るため、つまり幸せになるため」だと考えています。「勉強するから何がしたいかわかる」「勉強しないから何をしたいかわからない」映画監督、コメディアンとして有名な北野武（ビートたけし）さんの言葉です。

活躍している人を見て、「センスがあっていいなあ」「自分は何のセンスもないからだめだ」などつい思ってしまうこともあります。「センス」はもって生まれたもの、先天的なものと考えてしまいがちですが、実はそれだけではないのです。それは、「そのことに関する知識の引き出しが多い」ということ、「興味があることに対して、情報を他の人より多くインプットしている」ということなのです。

天才と呼ばれる偉人たちの人生を見てみると、幼い頃から誰よりその分野における情報を絶対的に多くインプットしていることがわかります。野球のイチローさん(低学年から毎日バッティングセンターに行き練習)、将棋の藤井聡太さん(5歳で将棋解説書を理解・記憶)などの逸話はよく聞きます。やはり、「数学のセンスあるね」「文章を書くセンスあるね」といわれる人は、幼い頃から数字に興味をもっていたり、本をよく読んでいたりするなど、知らず知らずのうちに集中して情報をインプットしているようです。ですから「自分はセンスがない」と諦める必要はないのです。自分の好きな分野の情報をしっかりインプットして、知識の引き出しを増やせばいいのです。

これに加えて、一つの分野にこだわりすぎずに、広くいろいろな情報を収集することをおすすめします。様々な分野の情報がミックスされることでオリジナリティが生まれます。それがやりたいことにつながります。

将来の夢を聞くと、「やりたいことが見つからない」という答えが返ってくることがあります。やりたいことが見つからないのは、自分の中に知識が不足しているからです。さまざまな情報を集める努力が必要です。だからこそ、勉強を頑張って様々な知識を得て、自分の進む道を探ってほしいです。

救急救命講習会

6月27日(月)全校生徒が救急救命講習を受けました。日本赤十字社山口県支部から講師を迎え、グループごとに一次救命処置(心肺蘇生とAED)の仕方を学びました。昨年、中学校の部活動中に倒れて意識がなくなった顧問の先生を、部員の中学生が救急救命講習で学んだことを生かして命を救ったというニュースが話題になりました。中学生という年齢では、「自他の命を守る」ということを考える必要があります。いざという時、家族や周りにいる人がすぐに手当を行えば、救命の可能性は高くなります。救急車要請から到着までの約10分間、「自分たちは何ができるのか」について知って、身につけておくことは大切なことです。まずは、「自分事として考え、人任せにしないこと。周りの人に躊躇なく助けを求めること。」が重要です。



まずはしっかりお手本を見ました



そして、全員が体験しました

1、2年社会見学実施

7月1日(金)に1、2年生合同の島根県津和野町への社会見学を実施しました。縦割りの5グループで班別研修を行い、事前に学習した津和野町の歴史や伝統文化に、実際に目や心で触れてきました。異年齢集団の中で培われるリーダーシップとフォローシップ、また、協力的な態度、思いやりや感謝の気持ちなどを、深めた1日になったことと思います。

津和野太鼓谷稲成神社の前で



前期いじめアンケート結果

このたび、厚東川中学校における「第1回持ち帰り方式のいじめアンケート」の集計が終わりましたので、結果について報告します。

- 1 実施日時:6月1日(水)～6月28日(火)
- 2 調査対象:全校生徒44名および保護者(回収率:生徒100%、保護者100%)

いじめアンケート【中学生の回答】

番号	設 問	ある／いる	無い
1	あなたは今の学年になってから、いじめを受けたことがありますか。	0	4 4
2	あなたは、今の学年になってから、ネット上でのいじめや嫌がらせを受けたことがありますか。	0	4 4
3	今の学年になってから、あなたの周りで、いじめがありますか。	0	4 4
4	あなたは、今の学年になってから、家庭生活で嫌なことや困ったことがありますか。	0	4 4
5	あなたが、嫌なことをされて困った時に、相談する人はいますか。	4 4	0
6	あなたは今、だれかに相談したいことがありますか。	0	4 4

いじめアンケート【保護者の回答】

番号	設 問	ある／いる	無い
1	あなたのお子さんは、今の学年になってから、いじめを受けたことがありますか。	0	4 4
2	あなたのお子さんの学校で、今の学年になってから、いじめを受けている子どもを見たり聞いたりしたことがありますか。	0	4 4
3	最近のお子さんの様子で、気になることがありますか。	2	4 2

保護者アンケートの自由記述欄には2件の記述がありました。「クラスで起こったことを気にしているのではないか」「友達とは良好関係だが、心にため込んでいるのではないか」と、お子様の様子を気遣う内容等が書かれていました。学校では記述内容について担任や教育相談担当が、保護者や生徒に詳細を確認し、個別対応に努めています。

いじめアンケートの目的は、いじめを受けている生徒の声、いじめを目にした生徒の声、そして保護者の声を一つでも多く拾い、事案に対して適切に対応することにあります。アンケートの結果をその後の対応に生かしたり、解決につなげたりすることで、誰もが安心して夢の実現に向けて努力できる、そのような環境づくりを全教職員で行ってまいります。

本校では学期に1回の定期教育相談と、随時相談を行っています。相談活動を通して、生徒一人ひとりの学校生活に関する悩みや困りごとを受け止め、個に応じた助言をしています。今後も生徒が教職員に本当の気持ちを打ち明けることができるように信頼関係づくりに努めていきます。